



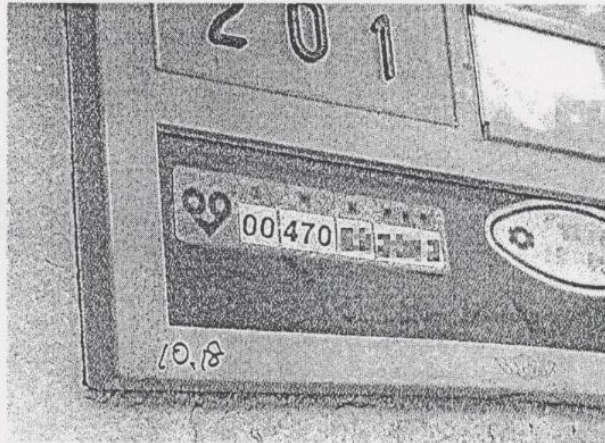
空き巣犯罪[マーキングに注意]

訪問販売業者ら表札に暗号記入

空き巣の標的、すぐ消して

マーキングに注意を
防犯鑑定協

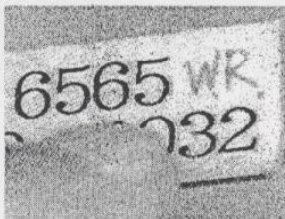
「10時から18時まで留守」の意味があるとみられる数字（京都市右京区内）



一人暮らし 留守宅判別 右京で15軒

訪問販売業者などが訪問宅の情報を暗号で玄関付近に書き込む「マーキング」について、京都防犯鑑定協会（京都市右京区）が犯罪被害につながるとして注意を呼び掛けている。留守の時間帯や家族構成などが一目で分かり、空き巣などの標的になる恐れがあるため、「見つけたらすぐに消して」と呼び掛けている。

「女性、留守」の意味がある「WR」と書かれたシール



マーキングは十年ほど前から、訪問販売業者などが効率よく訪問できるように考案したとされる。玄関にある表札や、電力会社の識別シールなどの隅にアルファベットや数字の

入居者様の安全確保と、犯罪の未然防止の為、オーナー様所有の物件に関しても、玄関周りをご確認下さい。

また、戸建の住宅に関しても、同様にマーキングされることがございますので、十分にご注意下さい。

暗号を書き込み、住人守」といった形で使われるという。同協会は結成以来、防犯パトロールでマーキングを見つけたら、住民に注意を呼び掛けたという話も聞かされた。先月からは、用心に越したことはありませんが、玄関の確認を呼び掛けている。（高橋道長）

2008年9月3日

京都新聞より

